

中山みずほ 区政レポート

2019年の初当選から4年目に入ります。

長引くコロナ禍の中、経済、暮らし、子育て…

様々な課題の解決に向けて、真摯に取り組んでいます。

お困りごと、ご意見などお気軽にお寄せください。



2022年
春号

皆さまからの声
私の原動力です!



これが
私たちの本音!



◀当事者の方々の
声をうかがうことを
大切にしています。

1人ひとりに
向き合った
教育支援を



▶保護者や子どもた
ちの声を教育長、教
育委員会に伝え、意
見交換をしました。

区長!ぼくたち、
わたしたちの意見
を聞いて



◀公園の禁止看板
に関して、子どもた
ちが直接訴える場を作
りました。

世田谷区議会議員

公式LINE
始めました。
友達追加してね!



中山 みずほ



深沢在住。
会社員夫と
中2息子の
3人家族。

〒154-0015

世田谷区桜新町1-25-25

電話:080-4634-2547

Eメール:info@nakayamamizuho.net

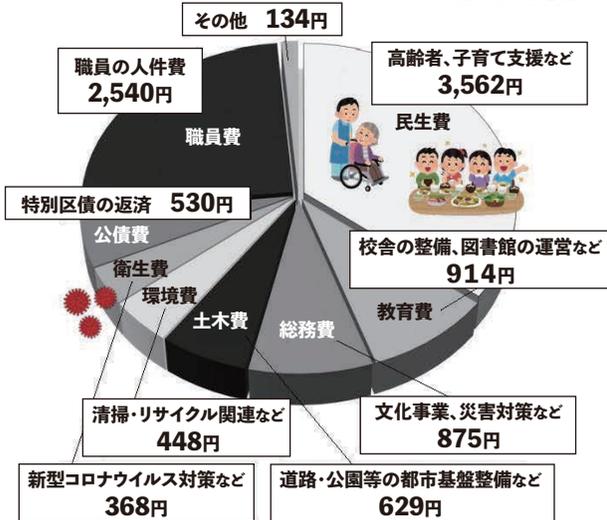


令和4年度 世田谷区の 一般会計 予算は3,336億円!

あなたが納税した
1万円の使われ方は?

一般財源1万円あたりの使われ方をグラフ化しました

【出典】世田谷区



気候危機対策にもなる ごみの減量は待ったなし!

コロナ禍の外出抑制やリモートワークなどの影響で家庭ごみが増加しています。

可燃ごみの中で最も多くを占めているのは、「生ごみ」。その生ごみの約8割は水分です。水分を多く含んだ生ごみは燃えづらく、焼却場で燃やす際に余計なエネルギーがかかってしまいます。

さらに、4月1日より「プラスチック資源循環促進法」が施行。世田谷区は現在、プラスチックごみも可燃ごみとして回収していますが、この法律によりどう変わるか? 今後、議論が始まります。



中山家もゴミ減量に挑戦中!

今年1月、誰でも簡単にできるバッグ型のコンポスト(堆肥をつくる容器)を購入した私。しかし、議会準備やご相談、打ち合わせで、早朝から深夜までの業務に追われ、自炊もできない日々が続きました。

生ごみが出るどころか、むしろプラスチックごみが増えてしまうという生活。「これではいけない!!」と一念発起し、やっと3月からコンポストバックの活用を始めました。



過去最大の予算規模だけど...

コロナ禍で大きく税収が減ることを想定し、区も私たちの会派も、シビアに事業見直しを行ってきました。しかし、実際には税収は増額となっていました。一方、住居確保給付金の申請は2008年のリーマンショック時を大きく上回り、窓口もあふれかえるほどに…。コロナ禍による格差拡大がこの世田谷区でも起きているのではないかと懸念しています。

国やシンクタンクの統計を確認しますと、新型コロナによる経済影響を大きく受けたのは、不安定な雇用にあった方、女性、シングルマザーなど、もともと経済基盤が弱い方々に集中しています。世田谷区は比較的、平均世帯年収の高い自治体ですが、見えづらい困窮に気づける体制、仕組みが必要だと考えます。具体的政策に落としこみ、提言していきます。

世田谷のプレーパークに集うお父さん・お母さんが製作した映画のトークイベントに!



▲「あそびのレンズ」上映後のトーク風景@下北沢K2シネマ

子育ての大事なことや仕事との板挟みがリアルに描かれ、思わず涙しました(泣く映画ではないはずなのですが...)。トークでは、プレーパークのことや、区の外遊び推進、子育て環境について話しました。



あそびのレンズ

議会質問



←中山みずほの過去の質問は動画でご覧いただけます。



中山みずほの政策の
トップに掲げてきました！



「理由を問わない乳幼児の一時預かり」拡充が実現！

4月から認可保育園の一時預かりの利用要件が緩和。つまり、就労の有無に関わらず、「子育て不安」「育児疲れ」などで保護者が必要と感じるときに、誰でも利用できるようになりました。今後は、この情報が保護者にしっかり伝わるよう、効果的な広報を求めました。
また、子どもを預けたい保護者が利用しやすいように、「情報の一元化」「空き情報の見える化」「申込のシステム化」など、ICTを活用したサービスデザインが必要であると提言しました。

就学前児童の保護者の気持ち

区が行った子育て中の保護者へのアンケートの結果、こんなことがわかりました。

Q.一時預かりを利用したい？

利用したい 約65%

Q.子育ては楽しい？つらい？

約2割の保護者が「子育てが辛いときがある」



「世田谷区子ども・子育て支援事業計画」ニーズ調査(平成30年度 N=3,123)より

多くの不安の声が！



5~11歳の新型コロナワクチン、十分な情報を！

新型コロナワクチンの小児接種に関しては、オミクロン株に対する発症予防効果・重症化予防効果の裏付けが十分でないことを踏まえ、努力義務(接種を受けなければならない)は適用されていません。そうした状況で、3月3日、小児のワクチン接種券約53,000通が、一斉送付されました。郵送物を確認すると、区の情報提供は残念ながら消極的なものでした。
「ワクチンをうつ・うたない」を決めるには、判断材料となる情報が必要です。国会や厚生科学審議会の議論、日本小児科学会などの意見を踏まえ、ポイントをまとめてSNSなどでも広報するよう、予算委員会で訴えました。

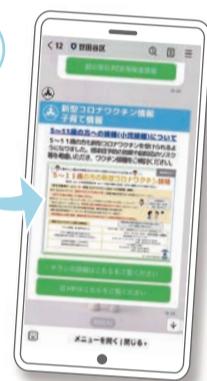
ポイントをまとめ SNSなどでも発信を！

3日後に実現！



区は、Facebook・LINE・Twitterでの情報提供を行いました。

「5~11歳の新型コロナワクチン接種に関して」▶



令和4年予算特別委員会(2022年3月15日) 福祉保健委員会所管質疑

- 1 保護者が利用しやすい「理由を問わない一時預かり」のための広報と仕組みを
- 2 5~11歳の新型コロナワクチン接種。もっと情報提供を！

令和4年予算特別委員会(2022年3月17日) 都市整備委員会所管質疑

- 1 区の計画に「都市整備所管におけるDX※1推進」を明示せよ
- 2 世田谷区のグリーンインフラ※2。区民に伝わる広報を
- 3 ひとり親世帯の住居支援を拡充せよ

※1【DX(デジタルトランスフォーメーション)】デジタル技術の導入や活用をきっかけに、生活をよりよく変革していくこと
※2【グリーンインフラ】自然環境の有する機能を活用し、豪雨対策、ヒートアイランド対策など、持続的で魅力あるまちづくりを進める取り組み

令和4年予算特別委員会(2022年3月22日) 文教委員会所管質疑

- 1 オンライン授業の際、通知表に表記される「出席停止」。誤解を生まない表記に改めよ

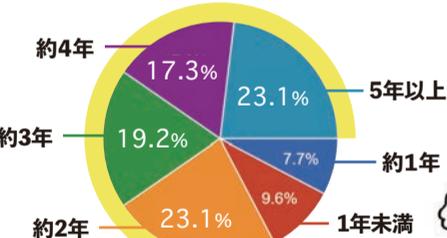
オンラインだと出席停止なの...?

出欠席の記録	4	5	6	7	9	10	11	12
授業日数	19	19	23	15	20	22	21	19
出席停止・忌引	1	0	1	0	10	1	2	1
欠席日数	0	2	1	0	0	1	4	2
出席日数	18	17	21	15	10	20	15	16

- 2 区立小中学校における特別支援について
 - 小学校にしかない特別支援学級「ことばの教室」、中学校でも支援を継続すべき
 - 特別支援教室「すまいるルーム」に、「指導期間は原則1年」とする東京都のガイドラインを適用するのは現状に即さないのでは？

「すまいるルーム」の利用年数は?(回答数52件)

すまいるルーム利用者・保護者・関心を持つ世田谷区民に行ったアンケートより(2022.3.10 回答数81)



約8割が2年以上利用している！

個々の児童に応じた支援・合理的な配慮を1年で途切れさせてはいけません！



都市整備におけるDX推進を！

人口減少、少子高齢化、空き家の増加、激甚化する地震・豪雨等の災害など、複雑・多様化する区の課題を解決するために、積極的に活用すべきなのがデジタルの新技术！予算委員会では、都市整備において、官民連携を進め、テーマに応じた「データを活用したまちづくり」が必要だと提案しました。



▲洪水、土砂災害等のハザード情報の3D表示

区が進めるEBPM(証拠に基づく政策立案= Evidence Based Policy Making) という観点からも重要！



※【ウォークアブル】車中心から歩くことが中心の都市へシフトするための都市戦略用語。

中山みずほプロフィール

世田谷区深沢在住。夫と中2息子の3人家族。世田谷区在住20年
○1970年中野区生まれ。'89都立大泉高校卒、'06産能短大卒。
○会社員歴20年(転職2回)。社内女性初の営業課長、広報担当支配人など管理職歴13年。
○3.11を機にNPOや地域活動に専念。世田谷区子ども子育て会議公募委員、世田谷区保育の質ガイドライン策定委員、世田谷区地域子育て支援コーディネーターなどを歴任。
○保坂展人政治スクール第1期生、日本政策学校第7期生として、市民参加のまちづくりや地方自治を学ぶ。
○2019年4月より区議会議員。区民生活常任委員、DX推進・公共施設整備等特別委員会。子ども・青少年協議会委員。
【特技】自転車こぎ、大人のぬりえ、お弁当を美しく詰めること

やっぱり集まるのは楽しい！！



コロナ禍、多くのイベントが中止。そんな中、一発奮起した「深沢バル」店長のおかげで、「春まつり」が開催されました！久々の人たちに会えた喜び！！声をかけ合う人がたくさんいることは、「防災」にもつながります。

